

電波時計について

電波時計とは

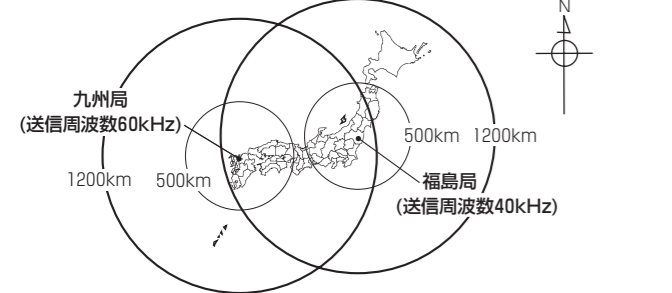
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。標準時の信号は、通信総合研究所の維持する国家標準により常に高い精度に保たれています。※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jyy.cri.go.jp)

電波の受信範囲について

条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。

<p>ビルの地下など</p>	<p>高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く</p>
<p>金属製の雨戸やブラインドの近く</p>	<p>電化製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く</p>
<p>工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。</p>	<p>朝夕の時間帯、雨天のとき</p>

※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

安全上のご注意(始めにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。)
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 浴室など、湿気の多い所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止の原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルの上長い間置くと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

■液晶表示板について

液晶には毒性が含まれていますので、破損等でもれた液には直接ふれないようにしてください。

■お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのおよれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

■誤飲による事故防止について

小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について

●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- +(プラス)、-(マイナス)を逆に入れてください。
- 新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用**性能部品**(電子回路)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。なお、都合により商品を現品交換させていただく場合もあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合 表示精度:±1秒 ●標準電波を受信できなかった場合 平均月差 ±30秒以内(常温中)
使用温度範囲	-10℃~+50℃(0℃~+40℃ 表示可読範囲)
使用電池	1.5V単3形アルカリ乾電池(JIS規格LR6) 2本
電池寿命	約1年間
機能	●時計機能 : 12時間制(午前 午後表示) ●カレンダー表示 : (西暦) 月、日、曜日 表示範囲(2002年1月1日~2069年12月31日) (うるう年は自動調整) ●自動受信 : 毎正時(文中記載) ●温度表示 : 0~+50℃ 誤差±2℃ ●湿度表示 : 30~96% 誤差±8%

※時計に付いている電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※0℃~+40℃の範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合がありますが、時計精度には影響ありません。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。

お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号(型番)をご確認のうえ、お問い合わせください。
(例:8RZ000など)

■お客様相談室	フリーダイヤル ☎0120-557-005
	☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
札幌支店	☎003-0030 札幌市白石区流通センター1-6-2 ☎(011)863-3788
仙台支店	☎983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-10-36 ☎(022)291-3235
北関東支店	☎370-0862 高崎市片岡町3-2-12 エコマジックF ☎(027)322-7892
東京支店	☎110-0005 台東区上野6-16-22 上野TGBビル5F ☎(03)5807-7814
名古屋支店	☎460-0008 名古屋市中区栄5-19-31 ☎(052)264-4581
大阪支店	☎542-0081 大阪市中央区南船場2-7-30 ☎(06)6264-2388
広島支店	☎730-0054 広島市中区南千田東町1-12 ☎(082)244-7774
福岡支店	☎816-0097 福岡市博多区半道橋1-11-14 ☎(092)471-5585
所在地・電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。	Y0401

発売元 **リズム時計工業株式会社**
本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp
取扱説明書番号 8RZ014-2

CITIZEN® 電波時計 (デジタル時計) 取扱説明書 アフターサービスについて

お買い上げいただきありがとうございます。
●お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
●お読みになった後も、必ず保存してください。

全国自動受信

■海外での電波時計の使用について

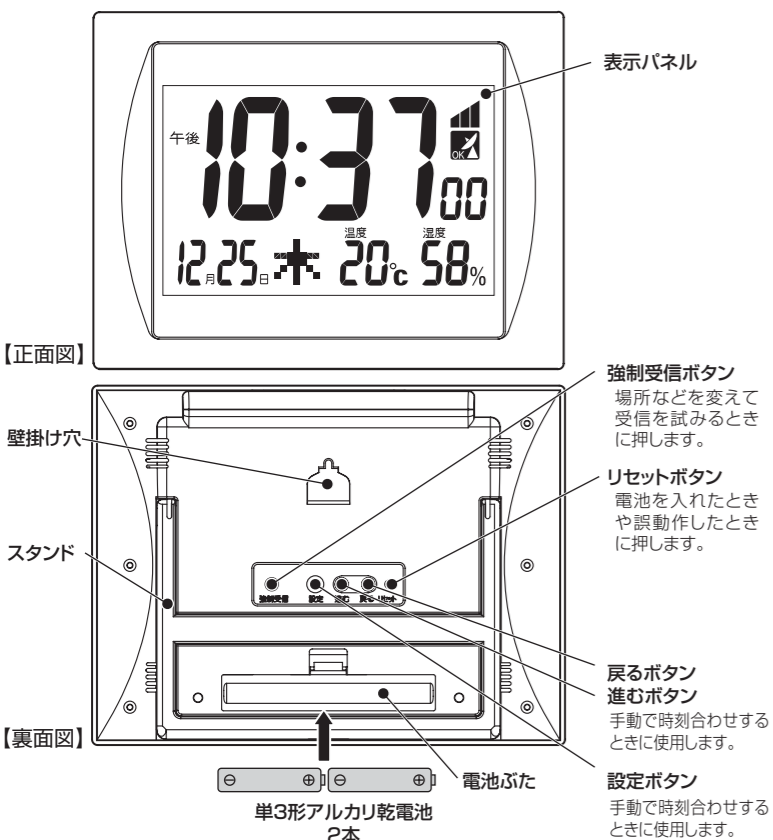
この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合せをして使用していても、まれに日本標準時を受信し、日本の時刻を表示してしまう恐れがあります。

■Regarding Overseas Usage of The Radio Wave Clock
This clock is intended for use within Japan. It is not suited for overseas use. Even if the time is adjusted manually, Japan time may still be displayed due to infrequent reception of Japan standard time signals.
This clock can only receive Japan Standard Time signals.

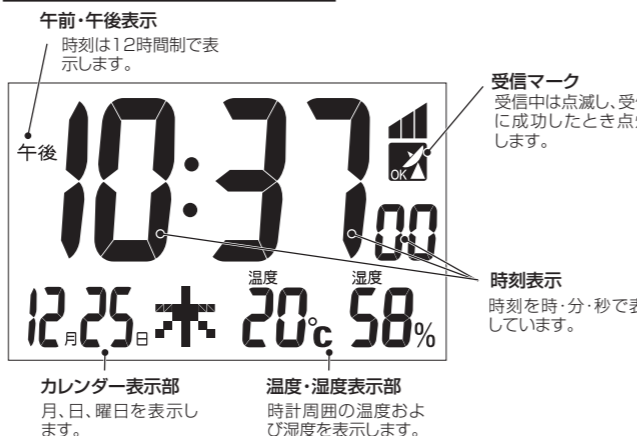
CITIZEN® はシチズン時計株式会社の登録商標です。

各部の名称と概要

※図は操作説明用ですので、商品によりデザインなどが異なる場合があります。



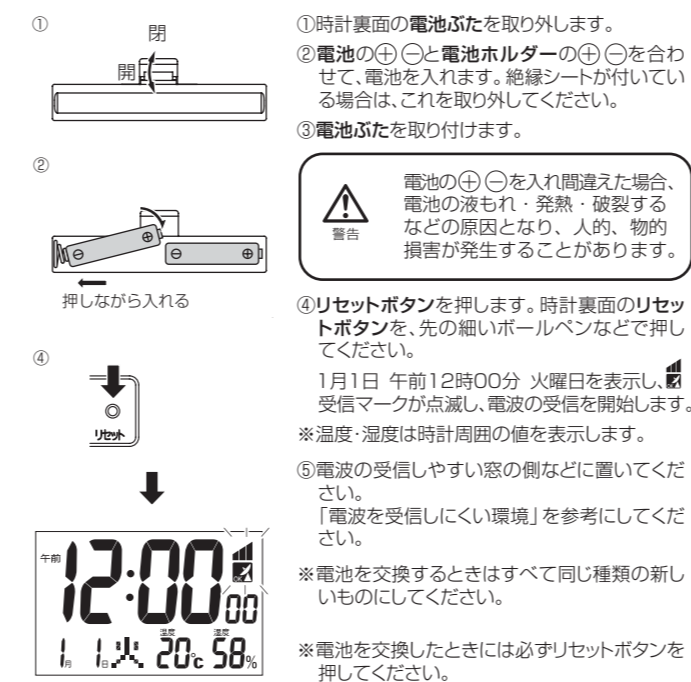
表示パネルの表示内容の説明



この時計の特長について

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 見やすい大きなデジタル表示
- 置いても掛けても使える
- 温度と湿度を同時表示

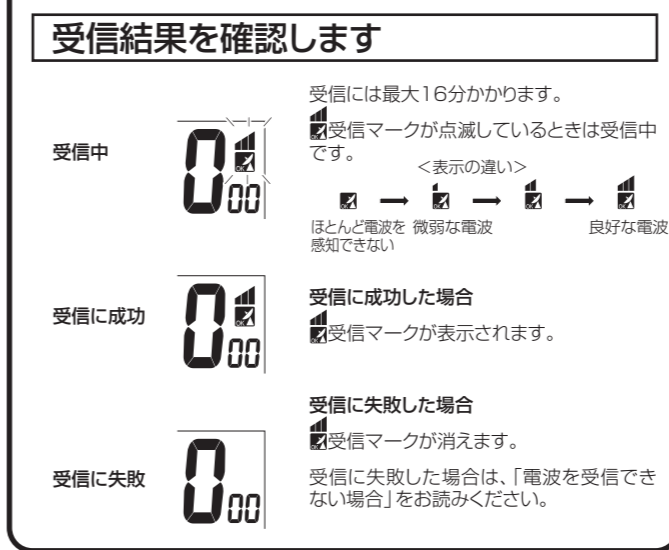
[1] 電池を入れ、受信を開始します



- 注意
- 次のような場合は、必ず電池を取り出してください。
 - 使い切った電池。(時計の表示が薄い)
 - 長期間時計を使用しない。
 - 電池からの液漏れで時計の故障や家具などを汚す原因になります。

電池交換の仕方

[2] 受信結果を確認します



電波の受信について

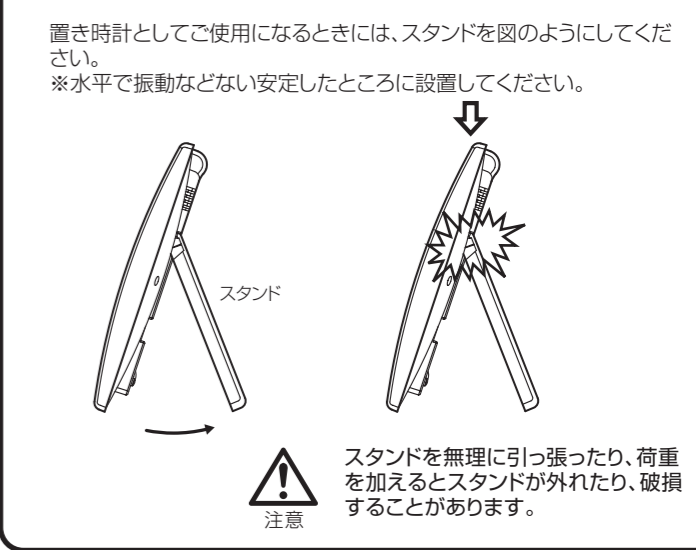
強制受信ボタンを押したとき
1回受信を試みます。受信中に強制受信ボタンを押すと受信を中止します。

定期的な受信
毎正時に受信を試みます。一般的に夜間の方が電波を受信しやすくなりますので、電波の受信に失敗している場合は、手動で現在時刻を合わせておいてください。

受信に成功しているとき：午前2:00にカレンダーおよび時刻情報を受信します。他の正時には、秒のみを受信して修正します。

受信に失敗しているとき：毎正時にカレンダーおよび時刻情報の受信を試みます。

置き時計としてご使用する場合

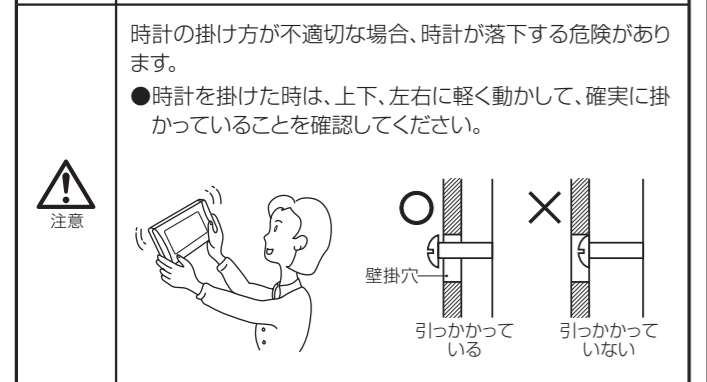
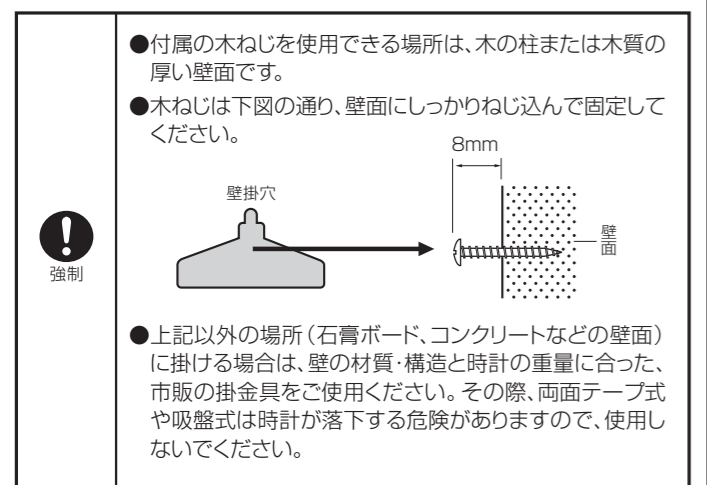


静電気による誤作動について

静電気により、内蔵されているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生することがあります。この場合は、時計裏面にある「リセットボタン」を先の細いボールペンなどで押してください。

掛け時計としてご使用する場合

掛け時計としてご使用なさる場合は、落下防止のため確実に掛けてください。



電波を受信できない場合

- 時刻が合わない場合
時計裏面の強制受信ボタンを押して、受信結果がでるまで待ちます。
- 朝までそのままにしておく
夜間は電波状況が良くなるので、手動で時刻合わせをして、一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。定期的に受信を試みています。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くようにします。次に、時計裏面の強制受信ボタンを押して、受信結果がでるまで待ちます。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

- 手動での時刻の合わせ方
基本操作手順
 - ①設定ボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - ②西暦の年を設定します。
 - ③月を設定します。
 - ④日を設定します。※曜日は自動的に設定されます。
 - ⑤「時」の桁を設定します。
 - ⑥「分」の桁を設定します。
 - ⑦「秒」の桁を時報などに合わせて、0秒に合わせます。
- 西暦など数値を設定するときには、進むまたは戻るボタンを使用します。進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。
- 次の設定に移るときには設定ボタンを押します。
- ※手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻・カレンダーを修正します。
- ※約30秒間ボタン操作がされなかったときには、それまでに設定された内容に更新して、通常の表示に戻ります。

操作例は、2003年1月1日から2003年12月25日午前10:30に合わせています。



Q&A(こんなときには)

- Q 受信マークが表示されない。
- A 標準電波を受信できる環境にないことを表しています。対策 次のようなことを試してください。
1. 窓の側など比較的電波の届きやすいところで試してみる。(場所により、電波の状態が変わります)
 2. 朝夕および雨天など電波が弱まる時を避けて試してみる。(時間帯や天候によっても電波の状態が変わります)
- Q ときどき 受信マークが点滅する。
- A 毎正時に自動受信して時刻修正をするときに表示されます。
- Q 受信マークが消えた。
- A 標準電波を受信した後、24時間以上受信に成功しなかったことを意味します。もう1度受信すると復帰します。マークが消えてもクオーツ精度で時計は動いています。
- Q 受信マークが表示されているのにテレビなどの時報と一致しない。
- A 表示精度が±1秒以内となっています。これ以上の誤差がある場合は、強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。また、電池が消耗している場合も、誤動作の原因になりますので、電池を交換してください。
- Q リセットボタンと強制受信ボタンの違いは？
- A リセットボタンは現在時刻を初期値(2003年1月1日午前12:00)に戻してから受信を開始します。電池を入れたときや静電気などで誤表示したときに押します。

温度と湿度表示について

